

— 大樹町宇宙航空課ニュースレター —

Taiki Aerospace News

内閣府特命担当大臣（宇宙政策）賞を受賞！

大樹町とSAPCE COTAN 株式会社は、内閣府主催の第7回宇宙開発利用大賞において「内閣府特命担当大臣（宇宙政策）賞」を受賞しました。これは、内閣総理大臣賞に次ぐ賞となります。

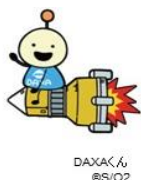
3月17日に行われた表彰式では、小野田大臣より表彰状を贈呈されました。

町として、40年間にわたる宇宙のまちづくりに対する取組みが評価されたことに感謝し、今後もHOSPOを核とした「宇宙のまちづくり」を進め、より一層の宇宙開発利用の進展に貢献していきます。

また、表彰式前に行われたパネルディスカッションでは、黒川町長が、40年前から宇宙の取り組みを続けてきたことを説明し、地域住民や漁業、農業関係者の皆様の協力に対する感謝の意を述べました。また、ロケット射場をつくることだけが目的ではなく、最終的には関連産業や人材を集積し、農業や水産などの一次産業と融合させ、人が集まり地域が栄える「宇宙版シリコンバレー」の実現を目指していると述べました。

【受賞のポイント（選考委員講評）】

長年にわたり地域・企業等が一体となって「宇宙のまちづくり」に取り組んでおり、ロケット射場の整備・打上げ、海外需要の取り込み、商業宇宙港の国際標準化に向けた取組、人材育成を進めるなど、多様な活動を積極的に実施しており、宇宙開発利用の促進、経済・社会発展、技術開発の貢献は高く評価できる。今後、我が国を代表する民間のロケット射場・宇宙港としての発展も期待できる。とのコメントがありました。

DAXAKUN
©S/O2

宇宙版シリコンバレーってなに？～今日のなんちゃら雑学～

宇宙版シリコンバレーとは、ロケットや人工衛星などの宇宙関連企業や研究機関、人材が一つの地域に集まり、新しい技術やビジネスを生み出していく拠点のことなんだって～！

企業同士の連携や情報共有が進むことで、次々と新たな挑戦が生まれる環境が整うんだよ。

大樹町では、北海道スペースポートを核に、このような宇宙産業の集積地づくりを目指しているんだ！



こてつくん

＜大樹町宇宙応援アンバサダー＞

IST ZERO用エンジン燃焼試験にて国内最大推力を達成

インターステラテクノロジズ社（以下：IST）は、町内の自社試験場において小型人工衛星打上げロケットZERO用のエンジン燃焼試験を行い、国内で開発されたメタンエンジンとしては、最大推力である13トンを達成しました。

本エンジンの燃料には、十勝地域の家畜の糞尿から生産された液化バイオメタンが使用されています。

また、ISTは文部科学省のSBIRフェーズ3における2つ目のステージゲート審査を通過し、新たに最大約73.3億円の交付が決まりました。



©インターステラテクノロジズ

動画はこちら



「宇宙なんちゃら こてつくん」のこてつくんが小学校入学式に登場

4月8日、大樹小学校の入学式が行われ、式典後にこてつくんが登場しました。

入学式を終えた児童らは、こてつくんを見かけた瞬間に「こてつくんだ！！」と大喜びで駆け寄り、笑顔で写真撮影をしていました。こてつくんは一時8人ぐらいに囲まれるほどの人気ぶりでした。

また、新一年生にはこてつくんがイラストされた定規セットをプレゼントしました。



第53回相模原市民桜まつり 銀河連邦物産展へ出店

4月4日、5日に神奈川県相模原市で開催された「第53回相模原市民桜まつり」の物産展に銀河連邦タイキ共和国として出店しました。

初日は、町長と議長がブースに立ち寄り、来場者に大樹の特産品をPRしました。当初、お国自慢をステージで行う予定でしたが、天候不良のため室内での実施となりました。結果として例年以上に時間が設けられ、各共和国の主な出来事や特産品について紹介され、さらなる交流を深めることが出来ました。

2日目は晴天に恵まれ、満開の桜とともに多くの人で賑わっていました。

今回は、まるみ工房が出店したほか、大樹漁協の灯台つづ、ししゃもなどの海産物も販売しました。

